

排水対策を万全に！ 適期を逃さず播種しましょう

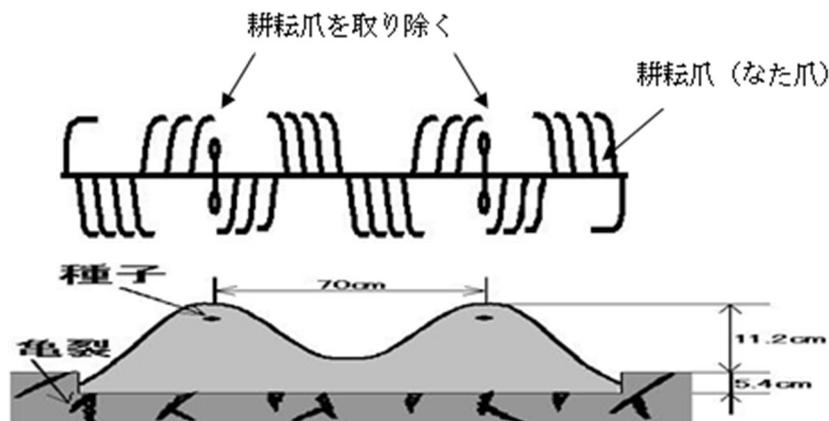
<排水対策のポイント>

- 麦作の排水溝を利用する場合は、麦わらの詰まりや溝の崩れがないか点検・補修し、地表面に滞水しないようにします。
- 土壌条件等に応じて、弾丸暗渠やサブソイラ等で地下排水を促しましょう。



<播種時の注意点>

- 梅雨の合間を縫っての播種作業になるため、耕起から播種までを1日で終わられるようにします。
- 播種後、大雨が予想される場合は、無理して播種をせず、天気予報を参考に少なくとも播種後3日間は降雨のない日に播種をします。
- 播種方法は、降雨による過湿ほ場でも湿害回避に効果のある「浅耕うね立て同時播種」※の導入を検討しましょう。



※「浅耕うね立て同時播種」のうねの形状とロータリ爪の配列の例 (条間 70cm)